



TITLE:

# 表紙・目次・卒業生近況報告欄・ 編集後記

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・目次・卒業生近況報告欄・編集後記. 公共空間 2014, 13

ISSUE DATE:

2014

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/197707>

RIGHT:

# 公共空間

2014 Autumn (Vol.13)

## 水と公共—万物の根源は水である—

### 【Ⅰ】エネルギーと「水」

- ・「汚染水問題の現状とこれからについて」  
自然エネルギー推進会議事務局長 中塚 一宏氏
- ・「温泉×エネルギー＝地域活性化？」  
一般社団法人 小浜温泉エネルギー 山東 晃大氏

### 【Ⅱ】開発と「水」

- ・「海に囲まれた日本 海運業界の果たす役割」  
海フェスタ京都
- ・「神戸港の【国際競争力強化】と【ウォーターフロント開発推進】」  
神戸市みなと総局職員 成本 克彦氏・白波瀬 浩司氏

### 【Ⅲ】商品としての「水」

- ・「ホーチミン市の水道を改善するために」  
大阪市水道局 長谷 徹 氏
- ・「ボトルウォーターとコモンズの商品化」  
NPO 法人 AM ネット 神田 浩史氏

### 【Ⅳ】自然環境の「水」

- ・「水産資源保護への取り組み」  
NPO法人セイラズフォーザシー 井植 美奈子氏
- ・「津波対策の今を知る—和歌山県を例に—」  
和歌山県庁 中村 吉良氏・山本 弘樹氏・楠本 良太氏
- ・「琵琶湖の水を守るということ」  
前滋賀県知事・びわこ成蹊スポーツ大学学長 嘉田 由紀子氏

### 【編集員報告】

- ・「水俣エッセイ『複雑の中で生きる』」  
取材協力 水俣病歴史考証館 永野 三智氏  
熊本大学 准教授 石原 明子氏

### 【教授論文】

- ・「クリミア問題と国際法」  
京都大学公共政策大学院 教授 浅田 正彦氏

### 【学生投稿論文】

- ・「プロスポーツが地域にもたらすもの  
—Jリーグ・ガイナレ鳥取を例に—」  
京都大学公共政策大学院 八期生 門脇 康太氏

### 【卒業生は今】

- ・「これからの公民連携のあり方とは」  
京都大学公共政策大学院 二期生 松村 勉氏

### 【現役学生インタビュー】

- ・「留学生が語る、京大公共の魅力」  
京都大学公共政策大学院 八・九期生 留学生一同

### 【自主活動紹介】

- ・「京都府政策提言ゼミ」



『公共空間』編集委員会  
京都大学公共政策大学院  
Kyoto University School of Government



長崎県水俣湾

皆様こんにちは。「公共空間」編集委員会です。

今回は、今までとはちょっと毛色の違うテーマで雑誌をまとめてみました。「水」。  
タイトルの言葉は古代ギリシアのタレスの言葉ですが、今こうして見てみると、我々の生活はこんなにも水と関わっていたのかと、しみじみと感じさせられます。

私たちの生活と切っても切れない水。しかし、天使にも悪魔にもなる水。普段なかなか意識しないテーマだと思いますが、ぜひこの機会に、この厄介な生涯の友との付き合い方を、考えてみて頂ければ幸いです。

「公共空間」編集委員一同

## 京都大学公共政策大学院 卒業生

### 近況報告欄

当大学院の卒業生の方々の近況について纏めさせて頂きました。ご協力いただいた卒業生の方々には、心より感謝いたします。

記載は、「名前（会期・五十音順、敬称略）」「期生」「現在の職務」「近況報告」の順となっております。

#### 亀井 達彦（かめい たつひこ）

・一期生

・金融庁総務企画局政策課  
・金融庁で勤務（国会担当）しております。大学院の同窓会では副会長をしておりますので、皆様の同窓会入会を熱望しております。

#### 佐野 泰久（さの やすひさ）

・一期生

・会計コンサルティング（かえでキャピタルマネジメント株式会社）

・東京都庁から会計事務所に転職しています。財務アドバイザーやっています。

#### 手嶋 隆行（てしま たかゆき）

・一期生

・福岡県直方県土整備事務所 会計係長

・四月の定期異動で久しぶりに本庁を離れ、出先の土木事務所に赴任しました。ここ直方は、旧産炭地で地域経済的には厳しい面がある土地ですが、のんびりした風土と人情あふれる街で、とても居心地のよい場所です。

#### 三谷原 基（みたにはら もとい）

・一期生

・総合商社、営業担当  
・入社以来ウランの売買を担当。最近はや事業投資（M&A）を担当。二〇一一年結婚、間もなく二人の子の父。

#### 安松 志郎（やすまつ しろう）

・一期生

・銀行員／投資銀行業務（ストラクチャードファイナンス）  
・日本政策投資銀行にて入行以来不動産ファイナンスに従事しながら、不動産のサステイナビリティを評価する認証制度を立ち上げ、その運用と展開に尽力しています

#### 松村 勉（まつむら つとむ）

・二期生

・G21 GROUP代表 宜野湾市政策参与  
・大学院で学んだ経験をもとに地域の活性化などの業務に取り組んでいます。公民連携を研究中。

#### 坂下 俊輔（さかした しゅんすけ）

・三期生

・内閣府政策統括官（経済財政運営担当）付  
・本年一〇月に経済部局に異動。経済学は専門外のため日々勉強です。また、本年五月に第一子も誕生。公私ともに充実しています。

#### 井上 浩志（いのうえ ひろし）

・四期生

・記者  
・横浜で一年、高知で二年働いた後に今年5月、神戸に異動になりました。

#### 長谷川 智史（はせがわ さとし）

・四期生

・四日市港管理組合経営企画部総務課 主事  
・三重県庁に就職しましたが、昨年度から一旦三重県を退職して、四日市港管理組合という一部事務組合に派遣となり、財政業務を担当しています。地方自治の奥深さを感じる日々です。

#### 濱 真理（はま まこと）

・四期生

・京都大学経済学研究科研究員  
・自然資本経営論という共同研究講座の事務局と講座内容にかかる研究を中心に、毎日京大にきてあわただしく何やかやとやりながら、慌ただしく過ごしています。

**有村 潤**（ありむら さかえ）

・五期生

・草津市役所建設部住宅課

・市営住宅の明渡し訴訟・強制執行を行うことなどを通じて、入居の適正化を図ることを日課にしています。

**野田 政裕**（のだ まさひろ）

・五期生

・兵庫県庁

・職場を離れて研究に集中できたことを、今でも誇りに思います。仕事と3人の子育てに追われる日々です。

**藤井 啓司**（ふじい けいし）

・五期生（入った時は四期生でした）

・石川県庁税務課

・法規・広報を始めとする雑多な業務を担当しています。仕事をしながら、地方自治ってなんだろう、と思うことも時折。

**吉田 浩巳**（よしだ ひろみ）

・五期生

・公益社団法人まちづくり国際交流センター理事

・公共政策大学院を修了後、経済学研究科博士後期課程に編入学し、現在三回生で博論のプレッシャーと戦っています。

**澤田 周吾**（さわだ しゅうご）

・六期生

・銀行員

・一年間融資の担当をした後、現在は農業の六次産業化を促進するためのファンドの運営業務をしています。好きで入った業界ではありませんが、勉強にはなります。

**平岡 正光**（ひらおか まさみつ）

・六期生

・地方公務員

・五期生の野田さんと同じ所属（課）です。来年は五期生の中嶋さんが来る予定（ウソ）。近く（京阪神）にお越しの際は、ご一報ください。

**徳永 眞一**（とくなが しんいち）

・六期生

・地方公務員

・大津市福祉子ども部で「子ども政策監」として、子ども・子育て支援の各種施策に携わっています。

**川口 創**（かわぐち はじめ）

・七期生

・弁護士

・阪田雅裕元内閣法制局長官との共著『法の番人 内閣法制局の矜持』（大月書店）を出版しました。

**北條 隆**（ほうじょう たかし）

・七期生

・国家公務員（財務省）

・現在内閣府（地方分権改革推進室）に出向しています。SNS更新も担当しているのでよかったら覗いてください。

(<https://www.facebook.com/cao.bunken>)

**山本 剛**（やまもと つよし）

・七期生

・総務省

・「公共空間」前編集長です。係員として修業の日々ですが、大学院での勉強や自主活動での経験は、入省直後から活かしています！



☂ 編集後記 ☂

益田―今回も編集員の協力のおかげで何とか完成にこぎつけました。編集長としてもお役御免です。

鈴木―二年間の活動で取材させて頂いたすべての方々に感謝申し上げます。将来は後輩から取材されるような大物になりたいと思います……。

高野―今回も有意義な取材をさせていただきました。さて、これからは正月返上で修論です！

中島―編集長として編集委員のみなさん、お疲れ様でした。今までありがとうございました。

森―足掛け三年間の公共空間も、今号が遂に最後になりました。取材先と読者の皆様に心から感謝です。

ヴァレー―なかなか大変ではあったが、なんとなく先輩と協力し、記事が書けた。これからも頑張っていく！

佐々木―今回は一年生が関わる初めての号で分からないことだらけでしたが、先輩方を始め皆様に助けていただき無事記事が完成してよかったです。ありがとうございました。

永田―同期が立ち上げた自主活動を取材することができ、彼らの意識の高さから大いに刺激を受けました。

梨子田―初めての公共空間編集員としての仕事は貴重な経験でした。ありがとうございました。

福島―初めての取材、執筆で取材の申し込みの段階から緊張の連続だったのですが、取材に応じて下さった皆様や先輩方、同期の温かいご支援で、無事乗り切ることができました。ありがとうございました。

村野―水＝水道＝インフラ輸出という発想から取材して、水をきっかけに官民間、都市間の協力が生まれている構図を取り上げました。万物の根源はやはり水だった、と思っていただけなら編集委員として冥利に尽きます。

『公共空間』 二〇一四年 秋号(通巻第十三号)

発行人 『公共空間』編集委員会

編集長 益田 彰拓

副編集長 鈴木 悠

編集委員 中島 和博 高野 詩織

森 俊貴 佐々木 和政

永田 麻理恵 梨子田 太郎

福島 雅博 村野 宏通

ノブル・ヴァレンタン

編集顧問 新川 敏光

編集協力 垣本 謙一

表紙撮影 長崎県水俣湾(撮影 鈴木 悠)

京都大学公共政策大学院『公共空間』編集委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学 法学公共政策大学院掛

TEL 075-753-3126

Mail koukyoukukan@yahoo.co.jp

HP <http://www.sg.kyoto-u.ac.jp/jp/environment/kokyokukan.html>

「京都大学学術情報リポジトリ 紅」

<http://repository.kuib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/index.html#gsg> にも収録

